

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	427 狂犬病予防経費	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
		目	01	保健衛生総務費
基本 施策	14 感染症などの流行、拡大を防ぎ、食の安全を確保する	細目	239	保健衛生事務経費
		細目	03	狂犬病予防経費
行革大綱の重点事項番号		753000		
担当部署	コード	753000		担当者 氏名
	名称	青山支所 住民福祉課		
		連絡先	52 - 3227	(内線)

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	犬の飼い主	※対象件数
成果(どうする)	狂犬病予防注射の徹底と犬の愛護及び適正飼育が促進される。	
根拠法令・要綱等	狂犬病予防法・動物の愛護及び管理に関する法律	
開始年度	平成	年度
終了年度	平成	年度
H22 事業 内容	畜犬登録に関する諸業務、及び、犬の飼い主に狂犬病予防集合注射の日程等通知、注射実施の徹底を図る。	
	社会情勢 の変化等	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H21	H22	H23	H24
畜犬登録数		頭	目標 950	目標 950	950	950
			実績 912	実績 862		
狂犬病予防注射実施通知		通	目標 950	目標 950	950	950
			実績 912	実績 862		

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H21	H22	H23	H24
予防注射受検率		畜犬登録数を分母とし注射実施頭数を分子とする	%	目標 80	目標 70	70	70
				実績 67.76	実績 64.38		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入コスト	直接事業費計(A)	H21 決算	H22 決算	H23 当初予算	H24 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	86	66	91	91
	一般財源	0	0	0	0
事業投入人件費(B)		0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440	0.2人 1,440
フルコスト(A)+(B)		1,526	1,506	1,531	1,531

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人の方だけでは対応し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	山間地域居住者には近隣に動物病院が無く、犬の移送手段確保が出来ない老人宅等は集合注射以外に選択肢がない。	○
	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	支所管内に動物病院は2件、ともに市街地にあり、郊外居住者(特に高齢者)については、本集合注射以外に予防注射を受けることが困難である。	○
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高いサービス水準や対象を見直す余地がある。	○
	当初設定した計画を 60%以上80%未満 実施している。	
	【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
達成度	予算の繰越の有無 無	【予算の繰越がある場合、繰越の種類】
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
全体コストにおける負担構成は適正である。	○	
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	現在も行っているが、今後も注射の周知や、犬の愛護や適正飼育の啓発を行う。
【状況】	計画のとおり進んでいる
【詳細】	
昨年度 の取組状況	青山支所管轄の畜犬登録者に、狂犬病予防集合注射案内ハガキを4月初旬に届くよう送付。4月14日・15日に管内延べ17箇所において、狂犬病予防集合注射実施。来場者にパンフレット配布し、犬飼育にかかる義務及びモラル等の啓発を行った。

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	森本 君枝
事業の方向性	【方向性】 現状維持
	【理由】 狂犬病の発生防止のため、継続して犬の登録管理や狂犬病予防注射を実施する。
現時点における課題、その他	支所管内の畜犬登録者に、狂犬病予防集合注射の案内を送付し実施しているが、把握はできていないが、受けさせていない飼い主もいるのではと思われる。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	今後も、狂犬病予防法により、飼い犬の登録と毎年の狂犬病予防注射が義務づけられていることを周知し、飼い主の責任とモラルに関する啓発を行う。また、狂犬病予防集合注射の案内について、平成24年度からは従来の方法に加えて、防災行政無線放送を通じて周知する。